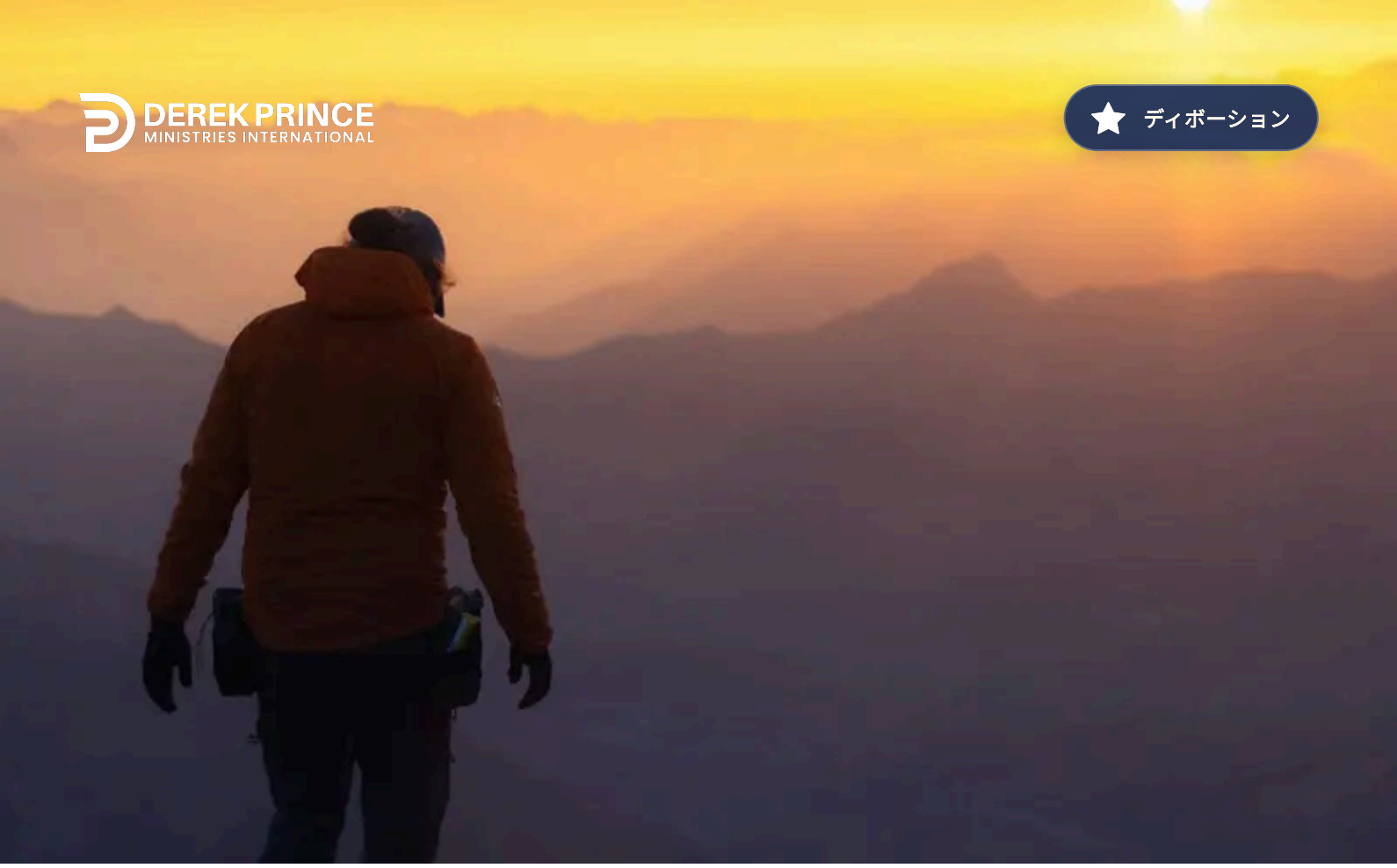


DEREK PRINCE MINISTRIES INTERNATIONAL

ディボーション

信仰-今の希望-将来

私たちの告白を揺るがずにしっかりと保ちましょう



日 329/365

Declaring God's Word

著者 デレク・プリンス

ヘブル人への手紙１１章には、「信仰」の定義があります。これは、聖書の中で明確に定義されている唯一の言葉です。

> 「さて、信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものです」（ヘブル１１：１）。

ここに、信仰と希望の関係を見ることができます。信仰は、現在あるもので、希望は将来のものです。信仰は実体と呼ばれる現実的なものです。それは私たちの心の中にあります。信仰に基づいて、私たちは将来に対する正当な希望を持つことができます。しかし、正当な信仰に基づかない希望は、単なる希望的観測に過ぎません。

> なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。（ローマ１０：９－１０）

新約聖書では、「信じる」は動作を表す語で、静的なものでも知的立場でもありません。あなたの心の中にあって、新しいものへとあなたを導きます。「信仰」も動きを表す語です。信仰によって、私たちは義と救いを信じます。知的な信仰を持っていても、その人は何も変わっていないというケースがあります。聖書のすべての教理を知性で受け入れても、全く同じ状態のままなのです。しかし、心に信仰を持つとき、それは救いにつながります。

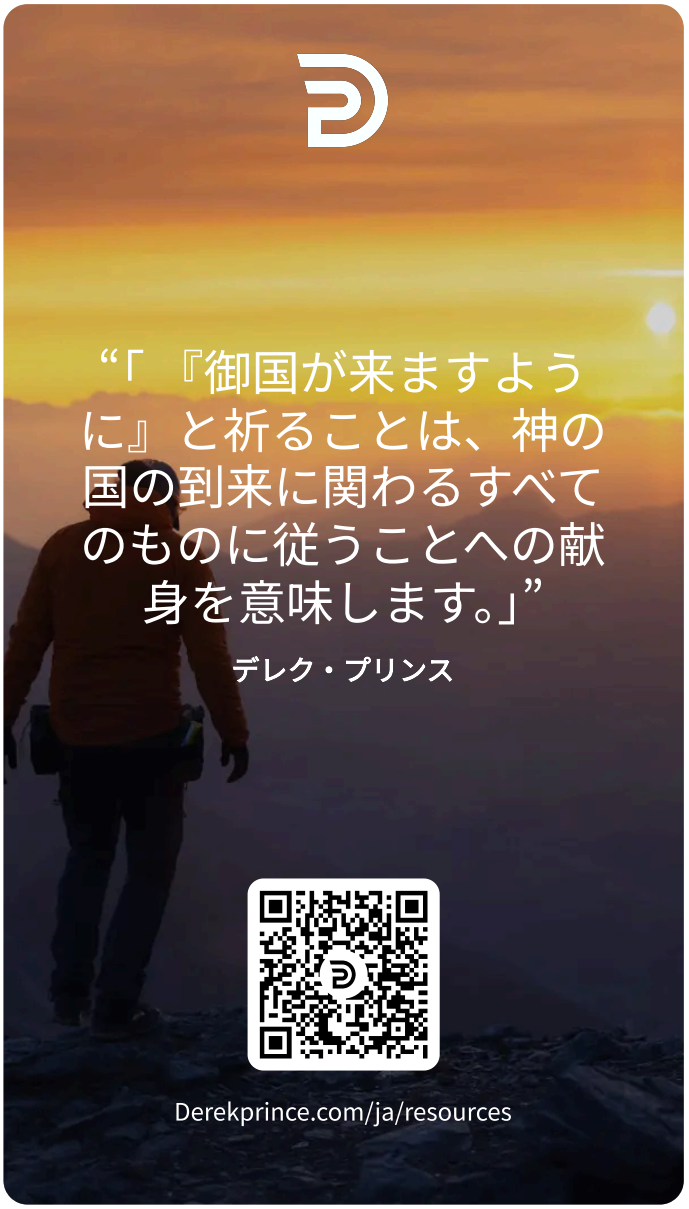
聖書のすべての教理を知性で受け入れても、全く同じ状態のままなのです。しかし、心に信仰を持つとき、それは救いにつながります。

> 「しかし、昼に属する私たちは、しっかりとして、信仰と愛の胸当てを身に着け、救いの希望をかぶり物としているべきです。」（テサロニケ人への第一の手紙 5:8）

この箇所は、二つの武具について語っています。信仰は心を守る胸当てで、望み（希望）は頭を守るかぶとです。信仰は心の中にあり、希望は思いの中にあります。

© 2008 - デレク・プリンス・ミニストリーズ・インターナショナル・インク

ディボーション ★
原稿: WD-B097-329-JPN
最終更新日: 04 Oct 2026
ウェブサイト: Derekprince.com/ja/resources



© 2008 - デレク・プリンス・ミニストリーズ・インターナショナル・インク